



## 滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

# 平成30年第52週（12/24～30）【概要版】

平成31(2019)年1月8日発行 滋賀県感染症情報センター

### 1. コメント

- (1) 報告が多かった疾患は、インフルエンザ、感染性胃腸炎とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎です。
  - ア. インフルエンザは、6か所の保健所管内で増加し、先週の約3倍の報告がありました。大津市保健所管内では注意報基準値を超過し、特に多く報告されています。
- (2) 大津市保健所管内で、百日咳が継続的に複数報告されています。
- (3) 水痘は大津市および東近江保健所管内で注意報基準値を超過しています。
- (4) 伝染性紅斑が継続的に報告されています。東北および関東地方では多く報告されています。

### 2. 報告数が多かった定点把握疾患(五類感染症) (i)

#### (1) 滋賀県

疾病名	滋賀県						保健所別 (iv)						
	2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
インフルエンザ	1.89	3.64	9.98		○		注	↑	↑	↑		↑	↑
感染性胃腸炎	10.06	10.22	4.65				多	↑					↑
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.09	2.06	1.32		○		多		↑				

#### (2) 前週の全国および近隣府県の状況(下線; 滋賀県よりも多い)

疾患	全国	滋賀県	大阪府	京都府	福井県	岐阜県	三重県
インフルエンザ	<b>8.05</b>	3.64	<b>9.26</b>	<b>3.79</b>	<b>5.17</b>	<b>9.24</b>	<b>12.18</b>
感染性胃腸炎	10.10	10.22	9.20	7.74	<b>23.91</b>	7.19	<b>14.27</b>
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.25	2.06	<b>2.99</b>	<b>2.11</b>	<b>3.23</b>	1.36	<b>3.27</b>



### 3. 全数把握疾患(滋賀県、今週診断例)

類型	疾病名	滋賀県						保健所別					
		2週前	1週前	今週	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
二類	結核	3	7	2			1			1			
五類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	1	○		1						
五類	百日咳	6	6	6	-	-	6						

- i. 定点把握疾患:人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握
- ii. 警; 警報発令、注; 注意報発令
- iii. 今週の値が過去5年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記(定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用)
- iv. 「警; 警報開始基準値を超過」、「注; 注意報基準値を超過」、「多: 今週の滋賀県の値よりも多い」、「↑: 前週比増加」(「警報」、「注意報」、「多」、「↑」の順に優先して標記)